

Press Release

AI とビッグデータによる健康度予測を開発する アクシオンリサーチ社、疲労科学研究所と提携

－「健康度分析と疾病リスク予測」の機能をストレス測定デバイスに追加開発－

アクシオンリサーチ株式会社（本社所在地：茨城県つくば市、代表取締役社長：佐藤 友美、以下アクシオン R）は、12月26日、株式会社疲労科学研究所（本社所在地：大阪市淀川区、代表取締役社長：倉恒 邦比古、以下疲労科学研究所）と、健康社会の実現に向け、健康度分析と疾病・疾患リスクの予測推定技術開発および業務提携に関して合意いたしましたので発表いたします。

アクシオン R は、AI エンジン（深層学習）と知識ベースエンジン（相関・推論・検証・最適化）のハイブリッド実装方式によるビッグデータ分析等のテクノロジーを基盤とした技術の開発を行っています。アクシオン R の開発している AI ベース技術と解析技術（予測推定・弱い相関／強い相関）、高速データ処理技術は様々な業界での活用が可能ですが、より多くの人々に貢献するべく、まずは、高齢化社会の到来とそれによる医療費の増加など、クリティカルな問題を抱え社会的インパクトの大きな健康科学領域にフォーカスしています。その中で、まずは、個人個人の疲労・ストレス・睡眠と不調からの回復能力を測定・推定して、各個人の健康度・将来の健康阻害や疾病・疾患のリスク危険性を評価し予測推定する技術の開発に注力しています。

この度、アクシオン R が提携した疲労科学研究所は、疲労や疲労感について、自律神経系の交感神経・副交感神経の差などから客観的に測定する研究を長年にわたって行ってきました。その中で、これまで客観的な評価が難しかった「疲労」の測定を、「主観的な疲労問診」に年齢差に注目した「自律神経測定」を取り入れることにより、精度の高い疲労検査を可能にしました。また、その技術を利用し、簡易に測定できるソフトウェアを開発、クリニックや調剤薬局等に提供しています。また、このソフトウェアを提供する中で蓄積した数多くの疲労に関するデータとその分析ノウハウを保有しています。

アクシオン R は、疲労科学研究所からこれらのデータと疲労度解析のノウハウの提供を受け、共同で疲労と疾病疾患リスクの関係について研究開発を行います。AI の予測推定精度を高めるためには、弱い相関・強い相関を特定すると同時に、レプリカデータを含めて、多くのデータが必要となります。一方、バイタルデータの収集にはかなりの時間とコストが必要となり、健康分野でビッグデータ解析を行う上での課題でもあります。アクシオン R は、今回の提携により、疲労科学研究所と連携して多くのデータ解析を進めることで、開発中の AI エンジン AXiR Engine/P-HARP の予測推定精度と能力を加速度的に向上することが可能となります。

一方、AXiR Engine/P-HARP で分析された結果をもとに、「健康度分析と疾病リスク予測」の機能を、疲労科学研究所が提供している既存の疲労計測デバイスに追加機能として付加することも視野にしています。開発されたデバイスは両社で販売を行い、健康マーケットにおける両社の存在感を協力して築いていく予定です。

アクシオンリサーチは、「健康を科学する」をコンセプトに、健康科学分野での新たな潮流を生み出し、世界の人々に貢献できるよう努力を続けてまいります。

アクシオンリサーチ株式会社 について（<http://axionr.com>）

アクシオンリサーチは「健康を科学する」をコンセプトに、プレジジョン・メディシン（精密医療）の考え方をヘルスケア分野に拡大した「プレジジョン・ヘルス・アナリシス」を推進しています。現在は、アクシオンリサーチの有する技術開発力を生かし、世界規模で収集した各人の血液データ・尿データ・呼吸・皮膚ガス・問診から得られた回答等のビッグデータをベースに、AI 技術（深層学習）により個人の健康度を解析・分

2017年12月26日

アクシオンリサーチ株式会社

析し、疾病リスクや不健康要因を予測・推定する AXiR Engine™を開発しています。この AXiR Engine™を利用したヘルスケア分野での事業化を実現するため、今後、さまざまな企業とのパートナーシップを開始していきます。AXiR Engine™は、ヘルスケア分野以外でも応用が可能で、将来的には、多様な用途・業界向けにもテクノロジーを提供していく予定です。

本件に関するお問い合わせ先

アクシオンリサーチ株式会社 富岡桂子

電話：029-886-7051

E-mail: pr@axionr.com

ご取材に関して

東京都内または近郊でのご取材も承ります。